



創立50周年記念事業を振り返って

式典後の振り返りを紹介します。子ども達にとって、大変思い出に残る一日になったことがうかがえました。今後につないでいくことを願っています。

50しゅうねんのたからさがしのと
たからをみつけられうれしかた
です。またみつけたいです。
はじまりのうたのとききれ
なこぶてうたをうたったのが
うれしかったです

1年生

いろんなものをおり紙でつくりまし
た。かはんの六年がはんのみんなに今
からすることをちゃんとおしえていた
のですごいと思いました。歌のれん
しょうのときはじまりの歌を歌うた
びにはじまりの歌のことがすきにな
っていきました。50しゅう年とかは
はくごせんだったからすごうれし
いです。

2年生

この日新小学校では50周年間い
ろんな人がこの学校は受けが
れてきたなと思いました。私は50
周年記念式典に出られたことを
うれしく思います。お祭りでは
いろいろな品がなくなつた時に
みんなで作りました。大へんた
たです。PTAの宝探しでは
びんぼろマークができてよか
たです。歌は教えられるように
歌えました。50周年記念式典
ではいろいろな人がよいをして
くれたなと思いました。ありが
たかったです。

3年生

日新わくわくフェスタで自分の
はんは、おれでたのでちょっ
とかざりつけた教室にお
てふつうの部屋になりました。
エンディングで「はじまりの
歌」と校歌を全力で歌った
のでよかったです。PTAの
きかすではメダルを5ユシ
かGETできたのでおもしろ
くみつけたからです。

4年生

日新わくわくフェスタの準備で
私は輪かざりを作りました。輪
かざりをかき、たら教室が華
やかになったのでよかったです。
宝探しでは私は2年生の子と
一緒にやって楽しく協力して
できました。ピンボールマ
ークもきれいに作りました。
エンディングのときははじ
まりの歌と校歌を一生懸命
で歌ったのでよかったです。
昼食タイムのときは友達と
仲良くご飯を食べて楽し
かったです。ご飯もおいしい
ものでありがたかったです。ま
た食べたいと思いました。こ
れからも明るく元気な日新
小学校を未来につなげてい
きたいです。これからも
みんなをよくして、住みよ
い日新地域に住み続けたい
と思います。

5年生

50周年記念式典に参加して、
私が卒業しても元気で明るい
日新小学を守りたいと思い
ました。日新わくわくフェ
スタではみんなの意見を
聞いてお話を回したり、協
力して店員さんができた
のでよかったです。エン
ディングでははじまりの
歌や校歌を今まで1番
気持ちよく歌ったのでよ
かったです。私の母も歌
がすごくよかったです。と
言っていたので歌にこめ
た思いが伝わった気が
うれしかったです。給食
ではスリッパにソフト
めんが食べられてな
つつかい気持ちにな
りました。50周年式
典記念式典で日新
学校は改めていい
学校だなと感じて、
卒業するのが少し悲
しかったけど記念
式典50周年の式典
に参加できて楽しい
思い出がくれたので
とてもうれし
いです。

6年生

*教員振り返りより 「50周年記念を迎え、感じる地区とのつながり」

数ヶ月にわたり準備をしてきた50周年記念式典。たてわり班のお祭りブースや、各委員会の仕事で当日を迎えた。当日は、保護者の方や弟、妹たちがたくさん訪れた。準備してきた子どもたちは今まで見せたことのない笑顔で来校された方に話す姿が印象的であった。

宝探しでは保護者、子ども、卒業生、教員が一体となってみんなで話しながら楽しむことができた。特に、地域とのつながりを感じたのは「楽しい給食」である。配膳を保護者が担当し、家族同士の輪になって和気あいあいと過ごしていた。

このタイミングで日新小学校に勤めることができたのはとてもありがたいと感じた。

○日新小学校 校歌について

創立10周年記念誌に、校歌の作詞をされた方からいただいたお言葉を紹介します。

校歌の歌詞を採用いただいて

米 沢 敦 雄

「昨年も暮れ近くになってから、当時6年の娘が、校歌の歌詞を募集しているので是非に作れという要請であります。元来正月休みというのは気ぜわしく過ぎてしまうのでありますが、今回は、何が気になりましたものか年が改まったばかりのある半日を費やして出来ましたのが、あの一作で、その後は提出しましたことも忘れておりましたところ、一部修正して採用したいとお申し越しがありまして大いに驚きました。

何分にも戦前の教育の多い頭は、力みすぎて言葉も固くなりましたところを、いかにも平明に改められ、感じ入るばかりでありました。それからまた日を経て聞きましたことは、作曲は福井大学の先生に依頼され、しかも、大武市長の筆になる額にして講堂に掲げ、それには作詞者の名前も書き入れられるということで、冷汗三斗ものだと思っておりましたところ、日ならずして、その写真が届けられました。この間、新聞にもちよつとした記事が出たりしましたことから、私の社の誰彼の目にもふれ……平常の人柄からは到底想像が……と褒貶いろいろで喜んで良いのやら、気をクサらせるやら、そんな余分な一幕もありました。そのうち、5月7日の開校記念日に賞をやろうというお話になったとかで、また一驚いたしました。元来わたくしは、賞というものにはおよそ縁のない性で、運動会の2、3等だとか、会社の永年勤続の賞とか以外にはあまり記憶にございません。それが、まことに晴れがましいことになりましたわけで、当日は、表彰状と記念の品をいただきまして、まことに光栄なことと心からお礼申し上げる次第でございます。

「年がいもなく、ヒラヒラと表彰状を見せびらかすわたくしが、心底一番まいりましたのは、娘が申しました痛烈な一言であります。

「発表会が、卒業したあとで良かったなあ。」

「どうも娘心は不可解なものではあります、しかしこの気持ちだけは、何となくわかるような気がいたします。

またとない栄えある機会を与えていただきました関係者の皆様に心からあつくお礼申し上げますと同時に、この学校の日になんたな発展をお祈りして、この稿を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

保護者の方(地域の方)の願いが込められている校歌を、これからも歌い続けていきたいと思えます。



エンディング(←)
全校児童と保護の方々が
「校歌」を歌いました